

📖リストについて

- ・このリストに掲載した絵本は、平成22年1月から4月までの間に出版されたものです。また、児童書は、平成21年以降に出版された読み物、ヤングアダルト向けの図書は平成20年以降に出版されたものです。
- ・このリストの各テーマは、本を紹介しやすいように便宜上設けたものです。他のテーマに分類できるものもありますが、御了承ください。
- ・【 】の中は、県立図書館の請求記号です。Eは絵本、Cは知識の絵本を表します。
- ・このリストで取り上げた本は、すべて県立図書館で借りることができます。また、お近くの公共図書館等を通して借りることもできますので、御利用ください。

絵本

◆あれ!?

『カッパのあいさつ』高島那生／[作], 長崎出版【E 夕】

⇒二人の仲良しカッパのお皿が割れて、さあ大変。代わりのお皿を探しに行かなくちゃ!

『まぐらのせんになん そこのあなたの巻』かがくいひろし／著, 佼成出版社【E カ】

⇒困ったときは「そこのあなた」に助けてもらおう。えっ。「そこのあなた」って、だれ?

『まんまるがかり』おくはらゆめ／[作], 理論社【E オ】

⇒まんまるになるのが得意?なネコのハナマルは、じいちゃんから「まんまるがかり」に任命されました。

『うんこ!』サトシン／文, 西村敏雄／絵, 文溪堂【E サ】

⇒わんこのうんこは、みんなにくさいと言われて、「くっそー!」と言いつつ返した。

◆魔法

『うっかりものまほうつかい』エヴゲーニイ・シュワルツ／作, オリガ・ヤクトーヴィチ／絵, 松谷さやか／訳, 福音館書店【E シ】

⇒ロシア児童文学の古典。うっかりものの魔法使い・イワンは馬車に乗っていた男の子に頼まれて、馬を猫に変えたけど…。

『フェドーラばあさんのおおよわり』K.チュコフスキー／作, V.オリシヴァング／絵, 田中潔／訳, 偕成社【E チ】

⇒「おれたちゃけらいじゃないんだぜ!」フェドーラばあさんの家の食器や家具たちは、怒って家出をしてみました。

◆こども

『ともだちごっこ』内田麟太郎／作, 降矢なな／絵, 偕成社【E ウ】

⇒「おれたちともだち」シリーズ。わがままで気が強いけど、笛が上手な女の子「テン」が、森に越してきました。

『ぼくの!』マチルデ・ステイン／文, ミース・ファン・ハウト／絵, 野坂悦子／訳, 光村教育図書【E ス】

⇒ある夜、メレルちゃんの前に現れたおばけは、何でも「ぼくの!」と独り占めしてしまうわがままなおばけでした。

『クリストファーのしあわせないちにち』パレリー・ゴルバチョフ／作, 三原泉／訳, 偕成社【E コ】

⇒学校で数の数え方を覚えたうさぎのクリストファーは、いろんなものを数えたくてしかたありません。



◆昔ばなし

『仕立屋のニテチカさんが王さまになった話』コルネル・マクシンスキ／再話, 足達和子／訳, ボグスワフ・オルリンスキ／絵, 偕成社【E 7】
⇒ポーランドの昔話。ある日, 占いで「東へ行けば王様になれる」と言われ, 仕立屋のニテチカさんは, 裁縫道具一式を持って旅に出ました。

『しょうとのおにたいじ』稲田和子／再話, 川端健生／画, 福音館書店【E 1】

⇒広島地方の民話。「しょうと」は, 中国地方での「ほおじろ」の呼び名です。

『とら猫とおしょうさん』おざわとしお／再話, かないだえつこ／絵, くもん出版【E オ】

⇒青森県八戸市で語り継がれていた『猫檀家』を元にしたお話。猫が長年かわいがってくれた和尚さんに恩返しをします。



◆知識の絵本

『ミーアキャットの家族』内山晟／しゃしん, 江口絵理／ぶん, そうえん社【C 4】

⇒ミーアキャットといえはかわいい立ち姿が思い浮かびますが, それにはちゃんと理由があるのです。

『おらんうーたんのうち』岩合日出子／ぶん, 岩合光昭／しゃしん, 福音館書店【C 4】

⇒オランウータンの親子が, 森でのびのびと過ごす様子を描いた写真絵本です。

『かえっておいでアホウドリ』竹下文子／文, 鈴木まもる／絵, ハッピーオウル社【C 4】

⇒アホウドリを, 昔のように増やすにはどうすればいいのか。「デコイ作戦」が始まりました。

『わたり鳥の旅』樋口広芳／作, 重原美智子／絵, 偕成社【C 4】

⇒渡り鳥である, コハクチョウ, マナヅル, ハチクマの旅のなぞが解明されています。

『さくら』長谷川摂子／文, 矢間芳子／絵・構成, 福音館書店【C 4】

⇒ソメイヨシノが語りかけるように, 話は進みます。桜の木の一年が, 丁寧に描かれています。

『はるですよ』柴田晋吾／さく, 広野多珂子／え, 金の星社【E シ】

⇒山や海など自然の中はもちろん, 動物に赤ちゃんが生まれたり, 幼稚園で入園式があったり…。ページごとに春を感じることができます。

◆ことば

『ことばかくれんぼ』山口タオ／文, 田丸芳枝／絵, 岩崎書店【E ヤ】

⇒ことばの中に動物がかかれています。いろんなかくれ方をしているので, さがしてみよう！

『サカサかぞくのだんなキスがスキなんだ』宮西達也／作, ほるぷ出版【E ミ】

⇒『サカサかぞくのだんなかなんだ』に続く回文絵本の第2弾は, 宇宙編です。



◆だれかのために…

『リスとはるの森』ゼバステアン・メッシェンモーザー／作, 松永美穂／訳, コンセル【E メ】

⇒ハリネズミが, きれいな女の子に恋をしました。リスは, ハリネズミの手伝いをしようと張り切ります。

『もりのおとぶくろ』わたりむつこ／作, でくねいく／絵, のら書店【E ワ】

⇒こうさぎたちは, 森の音を集めて, けがをしたおばあちゃんに届けることにしました。

『2ほんの木』エリザベト・ブラミ／作、クリストフ・ブラン／絵、小林繁夫／訳、上野与志／文、ひさかたチャイルド【E 7】
⇒大きな木と小さな木は友だちです。ところがある日、2本の木の間に壁が作られ、お互いを見ることができなくなってしまいました。



◆病気・けが

『ちゅうしゃなんかこわくない』穂高順也／作、長谷川義史／絵、岩崎書店【E ホ】

⇒予防注射の日、「今すぐここから逃げ出したい!」と思ったばかりの気持ちは、体から抜け出して、「ちゅうしゃのいたくない国」へ…。

『わにわにのおおけが』小風さち／ぶん、山口マオ／え、福音館書店【E コ】

◆食べ物

『べべべんべんとう』さいとうしのぶ／作／絵、教育画劇【E サ】

⇒お母さんの愛情たっぷりのおいしそうなお弁当の数々。ちょっと変わったユニークなお弁当も登場します。

『チョコレートがおいしいわけ』はんだのどか／作、アリス館【C 5】

⇒カカオの実の収穫から、チョコレートができるまでを追った絵本。

『くいしんぼう』今江祥智／文、高島純／絵、文研出版【E イ】

⇒くいしんぼうの犬・ボッシュは、太っているから「オットセイのオットー」とバカにされていましたが…。



◆図書館

『ぼくのブック・ウーマン』ヘザー・ヘンソン／文、デイビッド・スモール／絵、藤原宏之／訳、さ・え・ら書房【E へ】

⇒ブック・ウーマンは馬に乗り、どんな道のりでも、ひたすら子どもたちのために本を届けました。約80年前のアメリカに実在していた図書館員をモデルに作られた絵本です。

『トマスと図書館のおねえさん』パット・モーラ／ぶん、ラウル・コローン／え、藤原宏之／やく、さ・え・ら書房【E モ】

⇒両親が移民労働者のため満足に学校に通うことができなかった少年は、親切な図書館のお姉さんと出会い…。



◆芸術

『変わり者ピッポ』トレイシー・E.ファーン／文、ポー・エストラダ／絵、片岡しのぶ／訳、光村教育図書【E 7】

⇒フィレンツェにある大聖堂のドーム建設に挑んだ建築家、フィリッポ・ブルネレスキの物語。

『百年の家』ロベルト・インノチェンティ／絵、J.パトリック・ルイス／作、長田弘／訳、講談社【E ル】

⇒1656年に建てられた家の、1900年に入ってから100年の移り変わりを描いた絵本です。

『国性爺合戦』近松門左衛門／原作、橋本治／文、岡田嘉夫／絵、ポプラ社【E チ】

⇒実在した国性爺が、中国で活躍する物語です。「橋本治・岡田嘉夫の歌舞伎絵巻」シリーズの第4弾。



児童書

『はじめまして人間たち』きむらゆういち／作・絵，角川学芸出版【913 キ】

⇒密猟者たちによって，熱帯の草原から日本の大都会へ連れてこられた，山ねこシューのお話。猫から見ると人間ってすごく変？！

『幸福3丁目商店街 たこやき探偵団あらわる』村上しいこ／作，センガジン／絵，理論社【913 ム】

⇒商店街でひったくり事件発生！幼なじみの3人組は，「たこやき探偵団」を結成し，事件の捜査を始めます。

『テレビのむこうの謎の国』エミリー・ロッダ／著，さくまゆみこ／訳，杉田比呂美／絵，あすなろ書房【933 ㇀】

⇒テレビの向こう側の世界で行われるクイズ番組「さがしものチャンピオン」に招待された主人公・パトリックは…。

『千年ギツネ』[干宝／撰]，岡崎祥久／文，水上みのり／絵，理論社【923 カ】

⇒中国の古典『搜神記』を元にした不思議な話を11話収録。

『トレッリおばあちゃんのスペシャル・メニュー』シャロン・クリーチ／作，せなあいこ／訳，評論社【933 ク】

⇒ロージーは，目の見えない友だちベイリーの役に立ちたくて，いつも一生懸命。勢い余ってベイリーとけんかをしては，トレッリおばあちゃんに話をします。

『ずるやすみにかんぱい！』宮川ひろ／作，小泉るみ子／絵，童心社【913 ミ】

⇒ちょっとした失敗をからかわれ，いじわるされた雄介は，学校へ行きたくなくなってしまいます。そんな雄介にお父さんが「あしたは，ずるやすみをしよう」と言いました。

『ゆかいな農場』マルセル・エーメ／作，さくまゆみこ／訳，さとうあや／画，福音館書店【953 エ】

⇒クジャク目指してブタがダイエットをする「クジャク式ダイエット」など，7編が収録されています。

『びんの悪魔』R・L・スティーブソン／作，よしだみどり／訳，磯良一／画，福音館書店【933 ス】

⇒『宝島』『ジギル博士とハイド氏』の作者による作品です。不老不死以外は何でも叶えてくれる不思議なびんを手に入れた主人公ケアウエは…。

ヤングアダルト



◆ “ダンシ”

『仕事は5年でやめなさい。』松田公太／著，サンマーク出版，【159.4 108 マ】

⇒人は，期限を決めて取り組むと，成長の速度を劇的にあげることができる。人生の残り時間を考えた時，俄然真剣さが増す。

『半ケツとゴミ拾い』荒川祐二／著，地湧社【289.1 アユ 108】

⇒早朝の新宿駅前で行ったゴミ拾い。そこは想像を絶するところだった。

『「親のようにならない」が夢だった』加藤秀視／著，ダイヤモンド社【289.1 カシ 108】

⇒厳しい現実を生き抜き，スコープ1本から会社を興した半生を綴る。



◆ “ジョシ”

『ろくでなし6TEEN』三谷晶子／著，小学館【F ミ7 108】

⇒傍観者と人気者。対照的な二人でも，心の底を見透かすことはできる。

『よろこびの歌』宮下奈都／著, 実業之日本社【F ミナ 109】

⇒すべり止めの高校に通う自分は、仮の姿。でも、いつ、本当の自分になれるというのか…。

『靴を売るシンデレラ』ジョン・パウアー／著, 灰島かり／訳, 小学館【933 ハ】

『希望(ホープ)のいる町』ジョン・パウアー／著, 中田香／訳, 金原瑞人／選, 作品社【933 ハ】

⇒ひたむきに生きる逞しい女の子。人生の先輩との出会いと別れを乗り越えて進んでいく。

◆社会？

『ボーダー&レス』藤代泉／著, 河出書房新社【F フイ 109】

⇒自分とは異なる存在との間にあるボーダー。当事者以外には、些細なことかもしれないが…。

『自然と国家と人間と』野口健／著, 日本経済新聞出版社【S786.1 109 ハ】

⇒山の案内人たちの生活保障, 環境問題, 日本兵の遺骨収集等。私たちの知らない社会貢献活動の一端。

『明日、面接に行ける本』さかもと未明／著, ポプラ社【366.2 109 サ】

⇒「クリエイティブな仕事がしたいのに」と言う前に、知っておきたいこと。

◆自分

『わたし、男子校出身です。』椿姫彩菜／著, ポプラ社【916 ツア 108】



⇒体は男でも、心は女。タレントの椿姫さんが、周囲の理解を得るまでの壮絶な闘い。

『こんな私が大嫌い！』中村うさぎ／著, 100%ORANGE／装画・挿画, 理論社【914 ナ】

⇒自分に自信がないのは、みんな同じ。弱さを自覚することからすべては始まる。

『殺人者の涙』アン＝ロール・ポンドゥ／著, 伏見操／訳, 唐仁原教久／装画, 小峰書店【953 ホ】

⇒まっとうに生きることを知らずに育ったアンヘルは、幸せになることができるのか。